

<報道関係者各位>

2019年1月18日

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)  
情報セキュリティ教育事業者連絡会 (ISEPA)

### 情報セキュリティ人材の可視化ガイドライン (β版) 公開

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会の参加企業で組織する、情報セキュリティ教育事業者連絡会 (ISEPA : 代表 持田啓司) は、深刻な不足が叫ばれている情報セキュリティ人材に対するスキルの可視化を行うためのガイドライン (β版) を発表しました。

ISEPA では、深刻な不足が懸念される情報セキュリティ人材のキャリア基盤拡充策を検討するため、国内事業者による業界横断的な取り組み「JTAG (ジェイタッグ)」を行ってきており、今回のガイドラインについても人材の持つスキルの可視化への取り組みとして行ってきたものです。今回発表するものはβ版ではありますが、スキル可視化のすべての根底となる基本的な考え方、人材の定義や指標項目、判断基準、評価の範囲などの具体的表現方法など初版に向けて固まったことから公開することとしたものです。なお、情報セキュリティ人材に特化したスキル可視化は国内初となります。

JTAG ではこれまでも、セキュリティ業務を担う人材の現状調査報告書を 2018 年 11 月 2 日に公開したところですが、その中でも自組織を守るためのセキュリティ人材は潤沢とは言えず、育成・評価の仕組みが確立されているとはいいがたい状況です。

【セキュリティ業務を担う人材の現状調査報告書 (2018 年上期調査)】

<https://www.insa.org/isepa/outputs/research.html>

そのため、現状のスキルを可視化することで、今後の育成や評価に資することができればとの思いで作成・公開したものです。

公開するセキュリティ業務を担う人材のスキル可視化ガイドラインは以下のとおりです。

#### (ア) ガイドライン作成の目的

セキュリティ業務を行う上での必要スキルを評価するための評価要素や重みづけの考え方を示すことでスキルの可視化をし、企業内外において人材が流通し、セキュリティ人材の地位向上と、企業に対しての人材充足に寄与する。

#### (イ) ガイドラインのポイント

- ① 育成教育プランとの連携での利用価値までを念頭におく
- ② 一般企業に焦点をあてたロールの定義も導けるようにする

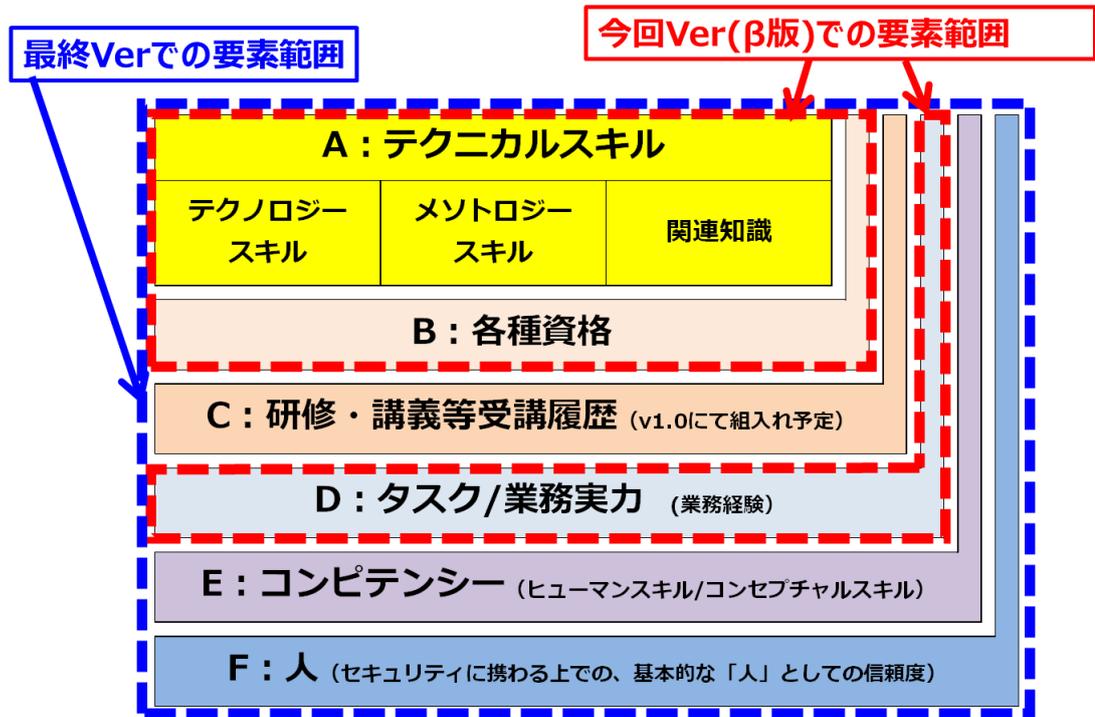
(ウ) ガイドラインの対象人材

セキュリティ業務をメインで行う人材だけでなく、いわゆるセキュリティ人材といわれない部門の人材も対象

(エ) 評価対象要素

以下の赤枠内を評価要素として、詳細項目ごとに重みづけを行う。

赤枠外の要素は次年度検討。

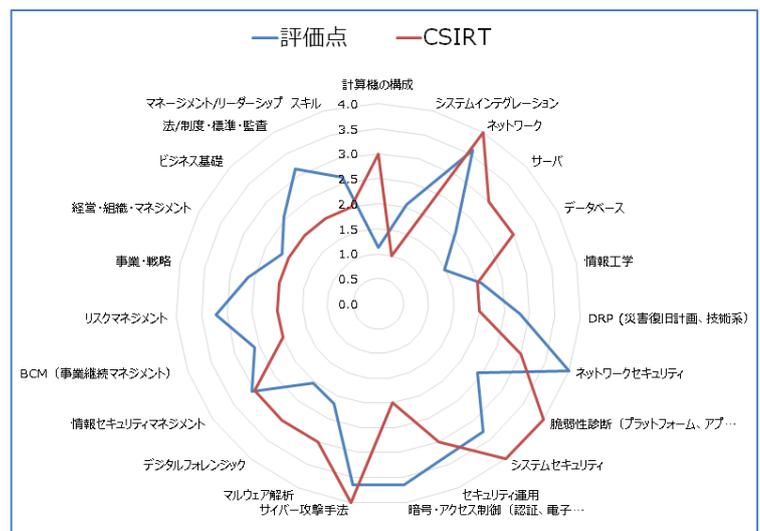


(オ) 可視化アウトプットについて (イメージ)

伊勢羽 太郎

CSIRT		☐ 目標業務	
	評価点	CSIRT	重要評価ポイント
計算機の構成	1.1	3.0	
システムインテグレーション	2.1	1.0	
ネットワーク	3.6	4.0	*
サーバ	2.1	3.0	
データベース	1.5	3.0	
情報工学	2.1	2.0	
DRP (災害復旧計画、技術系)	2.8	2.0	
ネットワークセキュリティ	4.0	3.0	*
脆弱性診断 (プラットフォーム、アプリ等共通)	2.4	4.0	*
システムセキュリティ	3.3	4.0	*
セキュリティ運用	3.3	3.0	
暗号・アクセス制御 (認証、電子署名等)	3.7	2.0	
サイバー攻撃手法	3.7	4.0	*
マルウェア解析	2.2	3.0	*
デジタルフォレンジック	2.1	3.0	*
情報セキュリティマネジメント	3.1	3.0	
BCM (事業継続マネジメント)	2.6	2.0	
リスクマネジメント	3.2	2.0	
事業・戦略	2.6	2.0	
経営・組織・マネジメント	2.2	2.0	
ビジネス基礎	2.6	2.0	
法/制度・標準・監査	3.2	2.0	
マネージメント/リーダーシップ スキル	2.6	2.0	

マッチ度 重要項目のみ **85.4%**  
 マッチ度 重要項目 + 非重要(上限100%) **88.9%**



(カ) 可視化ガイドラインのNSFでの解説

1月22日(火)にベルサール神保町で行われるJNSA主催のNetwork Security Forum 2019で概要を解説します。

(キ) スキル可視化のトライアル募集

今回のβ版の検証を行い、初版に向けて精度を高めるためにトライアル実施を行います。

- A) トライアルをお受けいただける方は、JTAG 事務の次のメールまでご連絡ください  
(JNSA内 [jtag-sec@jnsa.org](mailto:jtag-sec@jnsa.org)) 2019年3月末まで
- B) チェック項目の入力フォーマットを事務局より希望者に送付
- C) 希望者はチェック項目への入力を行い、事務局に送付
- D) 事務局で報告書を作成し返送
- E) 報告書の内容について必要に応じて事務局にコメント返送

■ 本取り組み(JTAG)への参加方法

本取り組み(JTAG)に賛同し、一緒に検討に参加していただける企業については、JNSAの会員(年会費制)に登録をお願いします。

なお、セキュリティ関連スタッフへのインタビューも継続して募集中です。お受けいただける組織の方は、JTAG事務局の次のメールまでご連絡ください(JNSA内 [jtag-sec@jnsa.org](mailto:jtag-sec@jnsa.org))。その後の詳細は直接ご連絡します。

■ 本取り組みに係わる組織について

- ・ 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)  
<http://www.jnsa.org/>
- ・ 情報セキュリティ教育事業者連絡会 (ISEPA)  
<http://www.jnsa.org/isepa/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

JTAG事務局(日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)事務局内)

E-mail : [jtag-sec@jnsa.org](mailto:jtag-sec@jnsa.org)

以上